

平成 29 年度 学校経営構想

嘉麻市立碓井中学校

【嘉麻市教育委員会基本施策】 就労できる力 学力向上 不登校解消 規範意識の育成 郷土愛

【学校の教育目標】 共生 自立 健康 一人一人の思いや願いで繋がる学校

【生徒の実態】

- 優しく素直であるが、ともすれば受身である
- 学力が二極化（低位層の伸び悩み）している
- 大人モデルが少ないため、高校進学に留まり、具体的な将来像（職業観）を持っていない
- 人間関係が硬直化している
- 保護者は協力的、学校への期待が大きい
- 家庭環境が厳しい生徒も多い

【教職員の实態】

- 協働意識が高く、組織的な動きができる
- 学校経営ラインが整備されている
- 年齢、男女構成のバランスが良い
- 生徒、地域の実態をよく把握している
- 在籍年数の長い教職員が多い
- 若年層が少なく、育成途上にある
- 学力が上がらないことへのジレンマがある

【教育課題】

- 高校から先の具体的な将来像（職業観）を踏まえた学習意欲の向上
- 低位層の底上げと上位層の向上
- 学習規律の定着と学習習慣の確立
- 人間関係づくりと規範意識の向上
- 家庭、地域を巻き込んだ教育活動の展開

【経営課題】

- 組織としての自覚と共同体としての教育組織体制の強化
- 学習意欲を高め、主体的な学びをつくる授業改善
- 若年教職員の実践的指導力の向上
- 確かな信頼と連携の構築

【重点目標】

- ① 高校から先の具体的な将来像（職業観）を描き、学習意欲の向上を図る教育活動の展開
- ② 習熟度・課題別等個に応じた授業づくり
- ③ 自己存在（有用）感を持つ教育活動の展開
- ④ 家庭、地域を巻き込んだ教育活動の展開

【経営の重点】

- ① 教職員の共通理解と組織的な協働体制の強化
- ② 学習意欲を高め、主体的な学びをつくる授業改善
- ③ 若年教職員の実践的指導力の向上

【重点目標達成のための具体的方策】

- ① 重点目標を踏まえた教育課程の編成
- ① 学習意欲の向上を図る教育活動を創造する。
 - キャリア教育（進路指導）と人権教育の視点を踏まえた総合的な学習の時間を実施する。
 - GT等を活用し、本物との出会いの場をつくる。
 - ユニバーサルデザインの視点を生かした授業を行う。
- ② 補充的な学習と発展的な学習、習熟度・課題別分割授業を積極的に取り入れる
- ② 形成的評価による繰り返し学習を徹底する
- ③ 一人一人が自己存在（有用）感を感じることができるよう、年間を通してピア・サポート活動を行う。
- ④ 小中連携、家庭・地域連携の視点から、学校行事や総合的な学習の時間等の改善を行う

校務運営の重点【教頭】

教務運営の重点【教務主任】

各部の重点目標【主任・主事】

各系の重点目標【担当者】

学年経営の重点【学年主任】

う・・・美しい所作

す・・・素敵な笑顔

い・・・一番の挨拶